



丹波篠山国際博  
日本の美しい農村、未来へ

# 丹波篠山国際博だより

問い合わせ

丹波篠山国際博実行委員会事務局 ☎ 558-8891

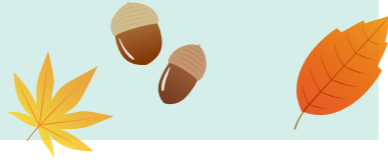
詳しくはこちら



## 10月を楽しむ【祭事・イベント】

- 明月神社秋季祭礼=3日(金)／明月神社(小坂)
- 地方スクーリング(ひょうごラジオカレッジ講義「黒豆が伝えてきた丹波篠山の食文化」)=3日(金)13:00～／丹南健康福祉センター
- 多紀小学校創立10周年記念事業(多紀町音頭に合わせて、園児、児童、保護者、教職員、地域の方々が踊ります)=4日(土)11:00～／多紀小学校運動場
- 真南条二村神社祭礼=4日(土)～5日(日)／二村神社(真南条中)
- 住吉神社 蛙おどり=4日(土)／住吉神社(今田町上小野原)
- 川内多々奴比神社祭礼=5日(日)／川内多々奴比神社(上板井)
- 畑まつり(流鍋馬)=5日(日)13:00～15:00／佐佐婆神社(畑宮)
- 丹波黒枝豆の朝市=5日(日)～31日(金)8:00～／丹波旬の市(吹新)
- 池尻神社 人形狂言=12日(日)15:00～／池尻神社(町ノ田)
- 黒大豆解禁イベント=10月初旬予定／市内各所
- 黒枝豆フェス(黒枝豆の収穫体験)=10月予定／大芋地区 ※集合場所は泊まれる学校おくも村(中)
- 「うまいぜ グウ お酒まつり」=11日(土)10:00～15:00／丹波杜氏酒造記念館前
- 杉秋祭礼 ○宵宮11日(土)17:00～ ○本宮12日(日)正午～※会場は杉公民館
- 丹波篠山 秋の味覚めぐり(下河原町「鳳和会」によるお食事処屋台)=11日(土)～13日(月・祝)／下河原・小川町鉾山会館前
- 第48回丹波焼陶器まつり=10日(金)～19日(日)／立杭陶の郷
- 楽市楽座=12日(日)／草山温泉やまもりの湯横
- 子ども三番叟=12日(日)／追入神社(追入)
- 二村神社 秋季大祭=12日(日)／二村神社(味間南)
- 左近神社の祭礼=12日(日)／左近神社(草ノ上)
- 展示物見学と枝豆収穫体験=17日(金)～18日(土)10:00～15:00／高橋記念会館・三宅剣龍美術館(向井)
- 春日神社祭礼=18日(土)～19日(日)／春日神社(黒岡)
- 秋の味まつり ○丹南味覚まつり=18日(土)／四季の森生涯学習センター ○城東味まつり=18日・19日(日)／城東公民館周辺
- 出雲神社秋祭り=19日(日)／出雲神社(波賀野)
- 八柱神社祭=18日(土)～19日(日)／八柱神社境内(網掛)
- 秋のアートフェスタ 古民家と森のオブジェ=15日(水)～19日(日)10:00～17:00 ※最終日は15:00まで。 ○18日(土)パフォーマンス ・相撲甚句=10:30～11:00、 ・篠笛とライアー演奏=11:00～11:30
- 鱧切祭=18日(土)／前沢田公民館
- 昆虫大捜査線=19日(日)9:30～／丹波並木道中央公園
- さる×はた合戦(獣害対策として、サルが柿を取る前に収穫する柿とりイベント)=19日(日)9:00～ ※みたけ会館集合

- 丹波篠山市文化の祭典 今田地区=25日(土)～26日(日)／今田体育館、さぎそうホール
- SHUKUBA祭り(SHUKUBAのテナント事業者の文化、芸術活動のワークショップ。地元飲食店事業者によるマルシェ)=25日(土)10:00～16:00／SHUKUBA(福住)
- 大山荘の里収穫祭=26日(日)／大山荘の里市民農園駐車場
- 春日神社(後川)秋まつり=26日(日)／上春日神社と下春日神社
- 丹波篠山クラフトウィーク2025(丹波篠山の工芸を身近に感じることができるイベント)=25日(土)～11月3日(月・祝)／王地山陶器所および市内工芸家の工房や飲食店
- 丹波篠山秋の味覚プレート販売=10月～11月中旬／大正ロマン館



## 国際博NEWS | ～8月の情報をまとめてお届けします～

### 小坂万燈祭

小坂地区の明月神社で、無病息災や五穀豊穡を願って、神社の境内に並べられた約420本のろうそくに火を灯す「万燈祭」が行われました。1902(明治35)年から続く伝統行事で、今年で124回目を数えます。万燈祭は、有志の皆さんによって、村を災いから守る神社に灯火を寄進することが計画され、その集まった資金をもとに、毎年1回(8月の最終土曜)行われるようになりました。



今年8月30日に行われ、午後7時30分ごろ階段状に並んだろうそくが点灯すると、境内を訪れた家族連れなどが明かりによる幻想的な雰囲気を楽しんでいました。藤山克則自治会長は、「高齢化や過疎化はすすんでいますが、受け継いだ大切な伝統を世代を超えてつないでいきたい」と話されました。

### 八朔祭

五穀豊穡を祈る八朔祭が熊野新宮神社(二ノ坪)で8月31日と9月1日に催され、コロナ禍や台風による中止を経て6年ぶりに行われました。31日の宵宮には、氏子7集落のうち3集落(小野奥谷、藤ノ木、箱谷)の「造り山」と呼ばれる山車3基が「造り物」をのせて宮入り。氏子たちは境内で山車を力強く引き回し、神前に奉納しました。また、境内に3基の山車が並ぶと、参拝者らは提灯の明かりに照らされた造り物【小野奥谷=金の鳳凰、藤ノ木=しだれ桜、箱谷=梅に鶯】に興味深く見入っていました。また、この日は夕涼み見学会が行われ20人が参加。四季の森生涯学習センターで、久下正史さん(灘中学校・灘高等学校教諭)による「丹波地域の造りものと八朔祭について」の講演を受講後、同神社に移動し、祭を楽しみました。



「金の鳳凰」



「梅に鶯」



「しだれ桜」



特集  
タウンレポート  
HOI  
情報ピックアップ  
市政リーダー  
インフォメーション  
おでかけ相談  
はぐくみ  
街かどレポート  
まちの話

# デカンショ節大賞ポスターを製作!



あさだまさし  
浅田政志さん

1979年三重県生まれ。写真家。日本写真映像専門学校研究科を卒業後、スタジオアシスタントを経て独立。NHK連続テレビ小説「ブギウギ」のポスター撮影や、映画「浅田家！」(2020年公開)のモデルになるなど、多方面で活躍中。

2015年4月に認定された日本遺産のストーリー「丹波篠山デカンショ節—民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶—」でもあるデカンショ節。今年も日本デカンショ節大賞に選ばれた歌詞「丹波篠山 霧深けれど 人の情けは なお深い」をテーマにしたポスターを浅田政志さんの撮影で作成しました。ポスターは、市内の公共施設で掲示されています。

また、今回のポスター製作には、昨年に続き、篠山鳳鳴高等学校写真部の皆さんにモデルとして協力していただきました。

なお、多くの方の目に触れる場所での掲示にご協力いただける方には、市役所担当窓口でお渡しします。

問い合わせ 市長公室 ☎552-6160

夏に丹波霧は出ませんが、人の情けはいつでも深いです!

撮影の度に画像を示しながら、配置調整・アドバイスを重ね、どんどん表情を引き出してくれました!

ユネスコ工芸都市加盟認定から10年。活躍する工芸家たちの手仕事に迫り、作品に込められた想いや制作のこだわりを紹介します。

## つくる人 Vol.6

### しみず たつや 清水辰弥さん (炎丹久窯)



陶芸家として4年目を迎える清水辰弥さん。窯元の家に生まれたものの陶芸の道に進むつもりはなく、会社員として働かれました。しかし、祖父が亡くなったことで、自分の立場を自覚し、陶芸家になることを決意。京都の職業訓練校や産業技術研究所で陶芸や釉薬を勉強した後、2021年に丹波篠山に戻り、現在、父の豊和さんとともに作陶に励まれています。

現在は、さまざまな釉薬を使用した日用食器類(お皿やマグカップ、スープカップなど)を主につくられ、使いやすく、食卓の名脇役として愛される器をめざして、作陶に取り組まれています。また、清水さんの作品は、独自に調査した釉薬が生み出す深みのある緑色が特徴。この色は、産業技術研究所時代に開発されたもので、完成した調査の比率を持ち帰り、今でも同じ原料で作られ続けています。「この釉薬を使用するなら、デザインや形状はこれだと、釉薬ありきで作品を制作しています」と清水さん。「釉薬

は、さまざまな成分を加えたり引いたりすれば、いろいろな色に作り変えることができます。緑色のほかに、黒やグレー、今では深い青色や黄色も作り、自分だけのカラーバリエーションを増やしています」と笑顔で話されます。清水さんは昨年4月から兵庫陶芸美術館の講師として勤務されています。「定期的に開催するワークショップの準備をする中で、これまで経験したことのない技法などもあり、広い視野で陶芸に向き合うことができるようになりました」と振り返られます。最後に「自分の可能性を決めるより、いろいろなことに取り組んでいきたいと思っています。今後は、古来から伝わる丹波焼の伝統技法にもチャレンジし、それを皆さんに伝えていければ」と、その熱い思いを話されました。

#### 催しのご案内

■ひょうご楽市楽座  
TAMBA WEEK  
in あまがさき  
9月27日(土)・28日(日)  
16:00~21:00  
尼崎フェニックス事業用地  
尼崎P&R駐車場隣接

# 身近に迫る 特殊詐欺

～狙われる私たちの平穏～

私たちの大切な財産を一瞬にして奪い去る卑劣な犯罪、特殊詐欺。昨年、日本全国で特殊詐欺が約2万1千件発生、約718億円もの被害があり、いずれも過去最悪を記録し、危機的な状況を迎えています。今回は、そんな特殊詐欺の手口や被害防止策について、お知らせします。  
**問い合わせ 篠山警察署 刑事生活安全課 ☎552-0110**



**兵庫県では認知件数が約1,400件を突破！**  
**被害総額が約32億円を突破！**



**市内で発生した特殊詐欺事例**  
 市内に暮らす男性の携帯電話に、警察官を名乗る男から「あなたに逮捕状がでています」と1本の電話が。その後、盗聴されているかもしれないと、SNSのビデオ通話に誘導され、偽の警察手帳を示して不安をあおり、「保釈金を払えば逮捕しない」などと言って金銭を要求し、お金を振り込ませるといふ事件が発生しています。

## 警察を語る詐欺電話の手口

**①ドキッとさせる電話**  
 もしもし、▲▲さんですか？ ●●警察の■■と申します。今お話できますか。

**②不安にさせる話**  
 え!? どういうこと? 実は、ある事件の犯人のグループがあなた名義のキャッシュカードも持っているとして、あなたも関係者として疑われているんです。

**③焦らせる話**  
 速捕!?! あなたに逮捕状が出ていますので、今すぐ出頭してください。

**④姿を見せて信じ込ませる**  
 やばい! 本物や...! 今すぐ来れないならテレビ電話で取り調べをします。

**巧妙な手口で金品をだまし取る特殊詐欺**

特殊詐欺とは、犯人が電話などで会うことなく、親族や公共機関の職員などを名乗って相手を信頼させ、不特定多数の者から金銭などをだまし取る犯罪のことです。その手口は、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺などの10種類に分けられ、日々、私たちの貴重な財産がだまし取られています。

**被害にあわないために**

兵庫県では令和6年中、被害件数1445件、被害総額32億7000万円増の3563万円に上り、過去最悪のペースとなっています。中でも、警察官をかたって、捜査名目で現金などをだまし取る「ニセ警察詐欺」の被害が目立ちます。市内では令和6年の特殊詐欺被害は3件でしたが、今年の上半期です。すでに6件の被害が発生。総額1068万円をだまし取られるなど、詐欺は皆さんの身近に潜んでいるのです。

「特殊詐欺は高齢者がだまされる」というイメージがあると思いますが、そうではありません。令和6年に兵庫県で被害にあった人の割合を見ると、65歳以上の方が56%、65歳以下の方が44%で、近年はSNSなどを悪用した手口が広がり、若い世代の被害も増えています。誰もがターゲットになる可能性がある今、「自分は大丈夫」という油断が犯人につけいられるすきになります。家族や友人など、身の回りの人が被害に遭わないためにも、お互いに注意し合うなど、相談できる関係を築く必要があります。

## それ詐欺です 代表的な手口

**オレオレ詐欺** 電話でお金のお話が出たら、電話を切り、家族などに相談しましょう!

息子や孫になりすました詐欺に加え、警察官を名乗る詐欺の手口が増えています。犯人は「風邪をひいて声が変わった」「携帯が壊れて番号が変わった」などと言って信用させた後、「お金が今すぐ必要」と話して振り込みを求めてきます。また、警察官を名乗って「口座が悪用されている」「あなたに逮捕状がでていいる」などと話し、お金や個人情報をだまし取ろうとする手口も多発しています。

**還付金詐欺** ATMでお金が返ってくることは、絶対にありません。

自治体、税務署、年金事務所の職員などと名乗り、医療費・保険料の過払い金や一部未払いの年金があるなど、お金の受け取れるという内容の電話をかけてきます。被害者が犯人の指示通りにATMを操作すると、実際には犯人側の口座にお金が振り込まれます。

## これで被害を防ぐ 詐欺への対策

- 1. 防犯機能付き電話の導入**  
 着信音が鳴る前に自動メッセージで警告してくれたりと、通話を自動録音してくれたりと、犯人からの電話を未然にブロックします。
- 2. 人間関係の構築**  
 家族や親戚、友人、隣近所の方と、コミュニケーションをとり、相談しやすい人間関係を築いておくことも詐欺被害を防ぐことにつながります。
- 3. ひょうご防犯ネット+ (プラス)**  
 県警察公式のスマートフォンアプリ「ひょうご防犯ネット+ (プラス)」。どんな犯罪がどこで発生しているのかを確認できます。詳しくは右の2次元コードからご確認ください。



## 特種詐欺の手口は巧妙化・多様化 自分は大丈夫と思わず、警察へ相談を

人の弱みにつけ込み、言葉巧みに私たちをだまそうとする特殊詐欺。篠山警察署管内では、今年1月から6月まで6件(昨年同時期0件)と被害が激増し、非常に危機的な状況となっています。以前は、還付金詐欺に被害が集中していましたが、今ではオレオレ詐欺の「ニセ警察官詐欺」(警察官をかたり逮捕名目で現金をだまし取る)が多発しています。このほか、恋愛感情や親近感を抱かせながら投資に誘導し、金銭をだまし取る「SNS型ロマンス詐欺」も増えてきています。このように、犯罪は日々変化し、巧妙化・悪質化しているのが現状です。

こうした犯罪に巻き込まれないために、「知らない番号からの電話には出ない」「甘い儲け話には乗らない」など、「これは詐欺かもしれない」という疑いの目をもてるようにしましょう。自分は大丈夫だと思わず、おかしいなと思ったときには警察(110番)に相談してください。



篠山警察署刑事生活安全課 竹中 昭博 課長

### 今月のこにちは市長室

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、懇談会または1人15分程度の面談です。

とき 10月10日(金) 16:00~19:00  
ところ 本庁舎3階 応接室  
問い合わせ 市長公室 ☎552-5109

### ふるさといちばん

市長の **ほっと HOT** とく

丹波篠山の時代をつくろう



### デカンショ祭 最高の盛り上がり

1日目は驚くような人出で、最高の盛り上がりとなりました。2日目は初め雨が少し降りましたが、多くの人でにぎわいました。1日目4万1,000人、2日目2万2,000人の計6万3,000人!

オープニングイベント、デカンショ踊りを競う競演会、古調デカンショ節披露や打ち上げ花火にヤグラ総踊りなど、大いに盛り上がりしました。



### 日本デカンショ節大賞

#### 大賞

丹波篠山 霧深けれど  
人の情けは なお深い  
▶田中顕則さん(神戸市)

大賞に選ばれた田中さんは今田町出身。高校時代、今田町から鳳鳴高校まで自転車で通いました。せっかくセットした髪が霧でぬれてしまった経験を思い浮かべながら書かれた作品です。



#### 優秀賞

丹波篠山 移住の決め手  
四季の移ろい 人の良さ  
▶波部吉裕さん(丹波篠山市)

丹波杜氏と デカンショ節が  
歴史育てて つなぐ里  
▶前川鈴代さん(丹波市)

丹波茶どころ 味間の風土  
茶葉を育む 丹波霧  
▶村岡孝司さん(丹波市)

#### 国際博賞

農都篠山 好みの味が  
春夏秋冬 切れ目なし  
▶波多野誠さん(丹波篠山市)

#### 子ども・若者賞

たんばささま きゅうしょくにほんいち  
まいにちたべる子 げんきな子  
▶内藤希さん(丹波篠山市)

ぼくがつくった くらまめピザで  
えがおいっぱい うれしいな  
▶黒松誠裕さん(大阪府高槻市)

### あんどん

デカンショ祭では毎年、市内の子どもたちの描いた「あんどん」を城下町の各通りに飾ります。まるいのやまめりんに続き、市長も描いてくれています。



# 夢への かけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。

## 県農業クラブ大会 農業鑑定競技で、篠山産業高等学校が2連覇達成



加賀野桃花さん、板谷由衣さん、立山寧々花さん(左から)

農業を学ぶ高校生が日頃の研究の成果を競う「第73回兵庫県学校農業クラブ連盟大会。知識を競う農業鑑定競技の分野「生活」で、篠山産業高校の板谷由衣さん(3年)が昨年に続き最優秀賞、立山寧々花さん(3年)が優秀賞を獲得し、10月21日から23日まで山梨県で開催する全国大会への出場を決めました。板谷さんは「プレッシャーもありましたが、2年連続で最優秀賞を受賞でき、大変うれしいです。今年こそは入賞をめざして頑張ります」、立山さんは「県大会では入賞めざして頑張ってきたので、本当にうれしい。全国大会に向けてさらに精進していきたいです」と抱負を語りました。

また、意見発表の分野I類(農業生産・農業経営)に出場した加賀野桃花さん(3年)は、灰小屋で作った灰肥料を地域の循環型農業資材として活用することを発表し、優秀賞を受賞しました。加賀野さんは「全国大会に出場はできませんが、産業高校の代表として10数年ぶりに入賞できたことはとてもうれしい」と、その喜びを語りました。

## 大学連携でんしよばと

問い合わせ  
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎FAX 506-6628  
丹波篠山フィールドステーション ☎FAX 506-2366

### 神戸大学と丹波篠山市の地域連携の拠点施設

#### 【丹波篠山フィールドステーション】

市をフィールドとした大学の研究・教育活動の拠点。2006年に神戸大学農学部のサテライト施設として整備され、他大学にも開かれた拠点・研究交流の場をめざしています。

教育・人材育成として、「実践農学入門」や「実践農学」の授業を市内で実施し、学生が地域で学べる機会を提供。地域に根差した学生サークル「にしき恋」や「AGLOC」「Luonto」を支援しています。

また、地域おこし協力隊の活動拠点としても活用されています。地域と大学が連携して実践的な学びや地域課題の解決に取り組む場となっています。

#### 【神戸大学・丹波篠山農村イノベーションラボ】

市と神戸大学が2016年に共同開設した拠点。JR篠山口駅構内という立地を生かし、地域内外の多様な人々の交流を促しながら、イノベーションを創発する場をめざしています。

市と大学とで設立した(一社)丹波篠山キャピタルが運営し、起業と移住・定住を促す「篠山イノベーターズスクール」や、コミュニティビジネスを支援する「地域しごとサポートセンター」を展開しています。

イノベーションを起こすような人材育成と起業促進の拠点として機能しています。

こうした活動を通じて、丹波篠山をフィールドとした研究・学び・人材育成のネットワークを築き、未来に向けた地域づくりに貢献できる拠点となることをめざしています。

